

施工説明書

高気密型床下点検口 高断熱026型

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
施工説明書は工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⊘	この記号は、禁止の行為を示しています。	!	この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
---	---------------------	---	-------------------------------

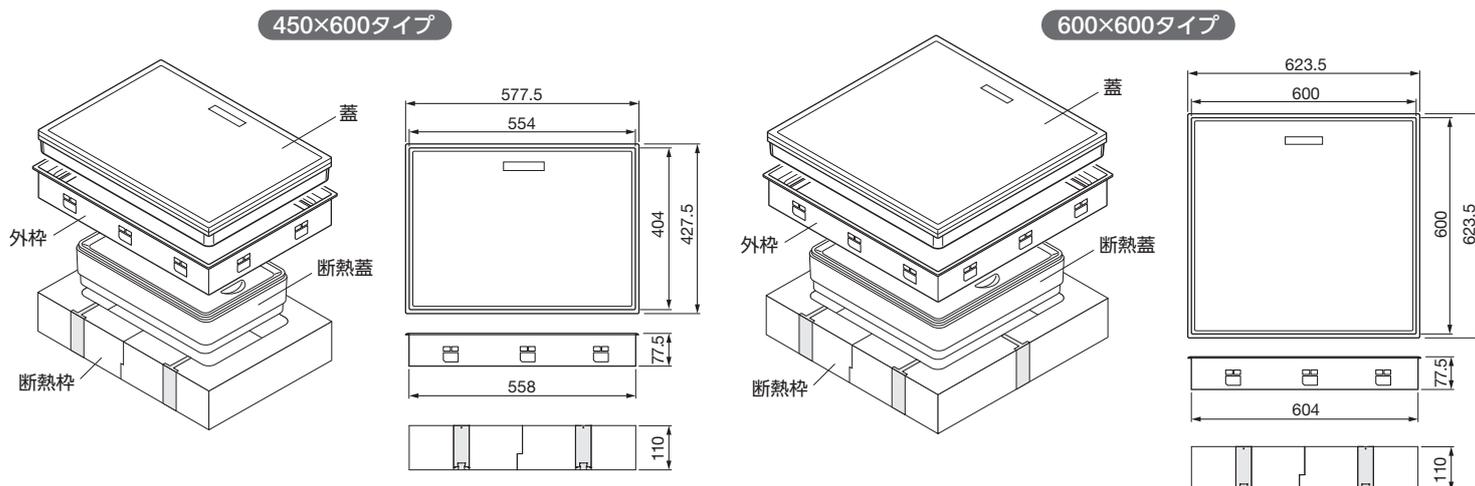
⚠ 注意

⊘ 禁止	樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。
	樹脂製ですので、熱源(投光器など)のそばに置かないでください。
	保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。

種類	適用	品番
高気密型床下点検口 (高断熱026型)	450×600タイプ	SPF-R45C-UB3・SPF-R45F12-UB3・SPF-R45F15-UB3
	600×600タイプ	SPF-R60C-UB3・SPF-R60F12-UB3・SPF-R60F15-UB3

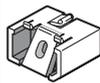
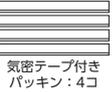
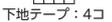
※品番：SPF-R45(60)C-UB3…クッションフロア合わせタイプ
/ SPF-R45(60)F12-UB3, SPF-R45(60)F15-UB3…フローリング合わせタイプ

製品図



⚠ 注意：断熱枠は梱包の緩衝材ではありません。絶対に捨てないでください。
収納庫は使用できませんのでご注意ください。

付属部材入り数一覧

製品品番 (梱包に表記の品番) ※台紙に表示されている品番 と製品品番(梱包表記品番) は異なります。	 スライドコア	 スライドコア用 木ネジ φ4.5×50mm	 スライドコア キャップ	 回転取手	 回転取手 取付ネジ M4×25mm	 断熱柱	 ワッシャー	 蓋組み立て用ネジ 縁材用 φ4×20mm	 蓋組み立て用ネジ フローリング用 φ4×55mm	 断熱柱 取付ネジ φ3.8×57mm	 気密テープ付き パッキン：4コ  下地テープ：4コ  コーナー用 三角パッキン：4コ
SPF-R45C-UB3	10	10	10	1	2	2	—	12	—	4	1
SPF-R45F12-UB3 SPF-R45F15-UB3	10	10	10	1	2	2	12	12	12	4	1
SPF-R60C-UB3	12	12	12	1	2	2	—	16	—	6	1
SPF-R60F12-UB3 SPF-R60F15-UB3	12	12	12	1	2	2	16	16	16	6	1

施工説明書の見方

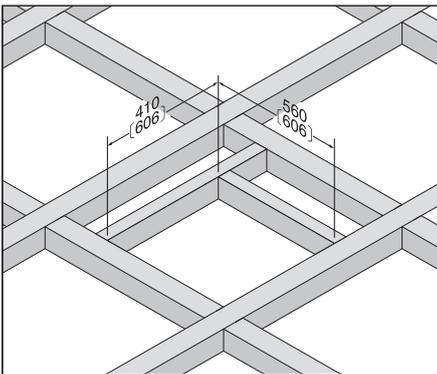
この施工説明書は高気密型床下点検口(高断熱026型)を掲載しています。
下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。
※[]内の寸法は600×600タイプ

1 施工の前に

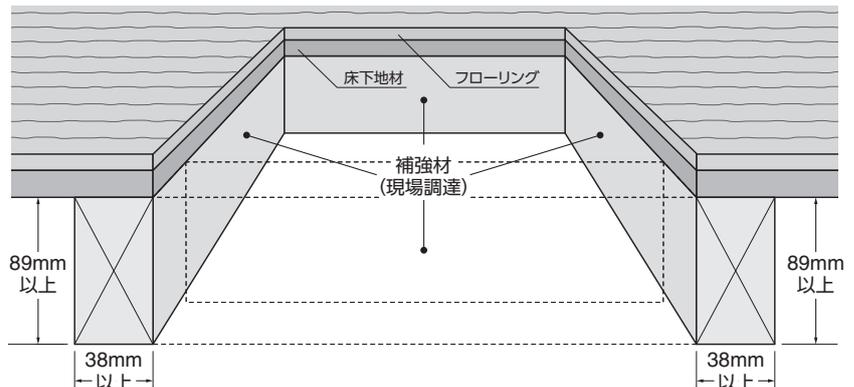
- ・気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。
- ・収納庫は使用できませんのでご注意ください。

2 下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます(根太、補強材の構成)

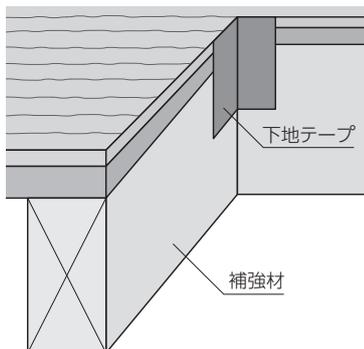
1 450×600タイプは**410×560mm**
600×600タイプは**606×606mm**
の開口部が必要です。



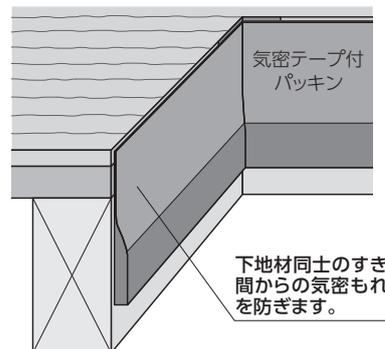
2 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。
※補強材には乾燥材をご使用ください。
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



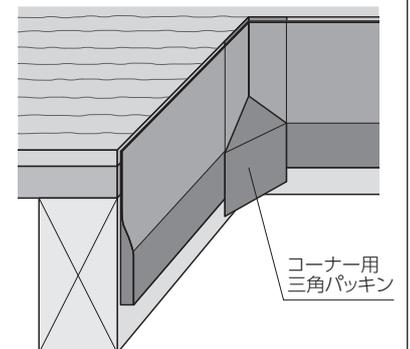
3 コーナー部に付属の下地テープのみを貼ってください。



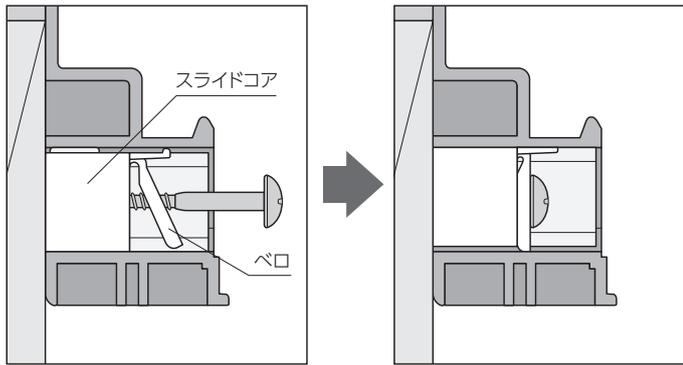
下地材の側面に付属の気密テープ付パッキンを貼り気密処理をしてください。



コーナー用三角パッキンを、さらに上から貼ってください。



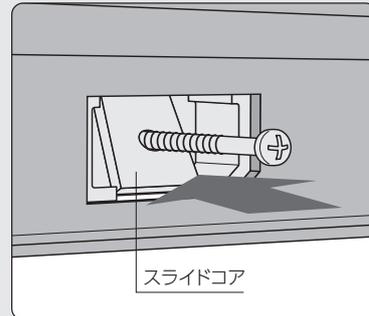
4 **3**に外枠を取り付けます。外枠側面に同梱しているスライドコアを**奥まで**差し込み、スライドコア用木ネジで補強材(現場調達)に取り付けます。



木ネジは必ず**水平**に入れてください。

ベロがまっすぐ立つまで木ネジを留め付けてください。

スライドコアは、中央部分から留め付けてください。全てのスライドコアがしっかりと留め付けられていることを確認してください。



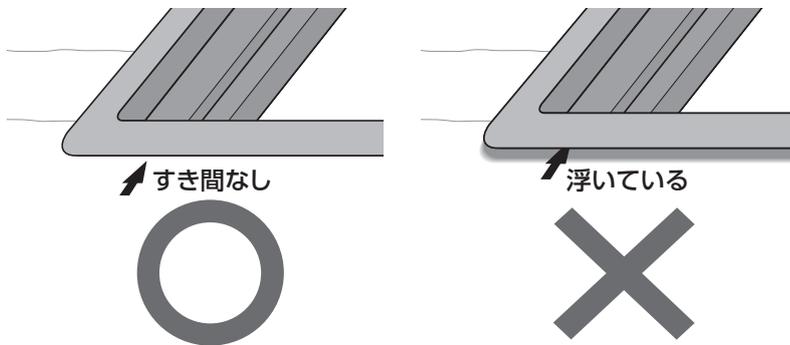
●450×600タイプ



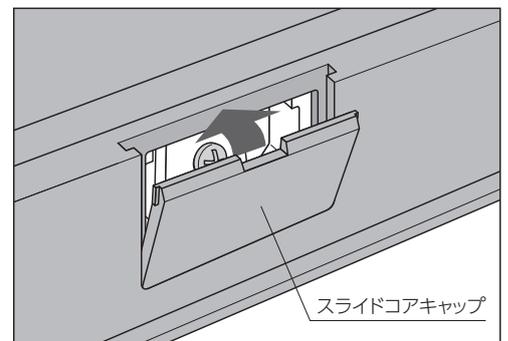
●600×600タイプ



注意 外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



5 **4**で取り付けした外枠に、同梱していますスライドコアキャップをセットしてください。



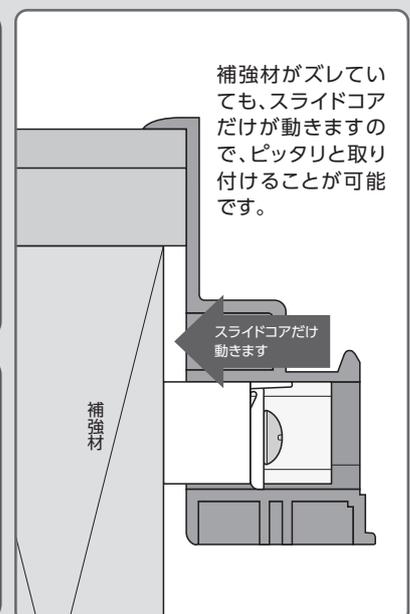
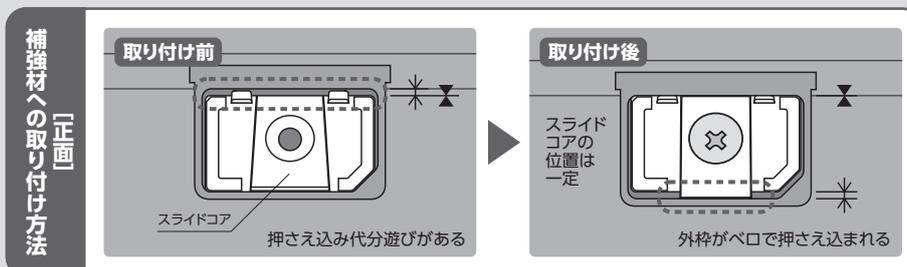
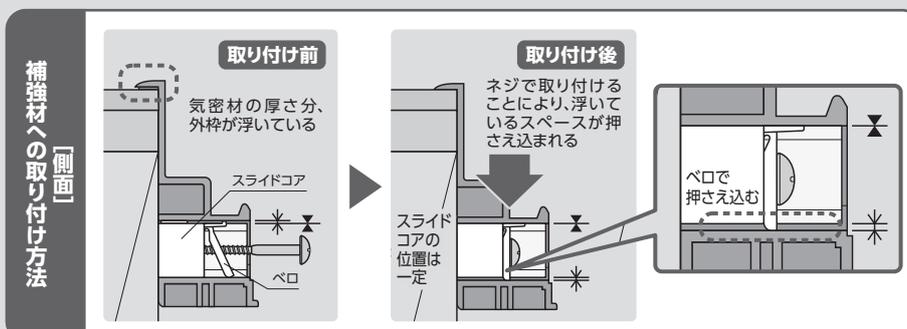
※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

■スライドコアの取り付けについてお願い

下記の図の通り、外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると(スライドコアは、あらかじめ外枠の奥までしっかりセットしておいてください)スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。スライドコアは、外枠に手を触れずフリーハンドで取り付けてください。

※スライドコアは中央部分から留め付けてください。

※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。



補強材がズレていても、スライドコアだけが動きますので、ピッタリと取り付けが可能です。

3

断熱枠を取り付けます

■断熱蓋 1コ 断熱枠 1セット

■断熱枠取付ネジ(φ3.8×57mm)

450×600タイプは4本/袋

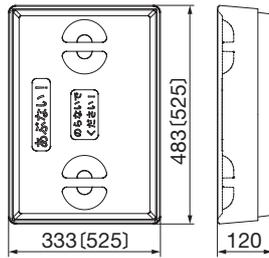
600×600タイプは6本/袋

■断熱枠支持ブラケット

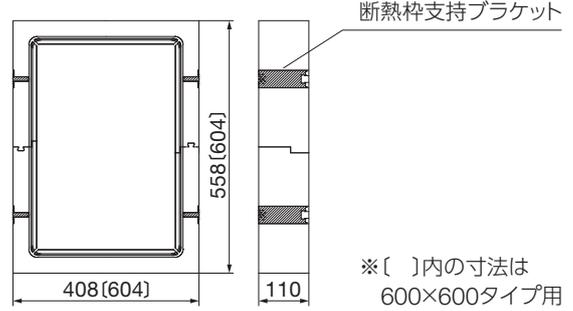
450×600タイプは4ヶ所

600×600タイプは6ヶ所

●断熱蓋図

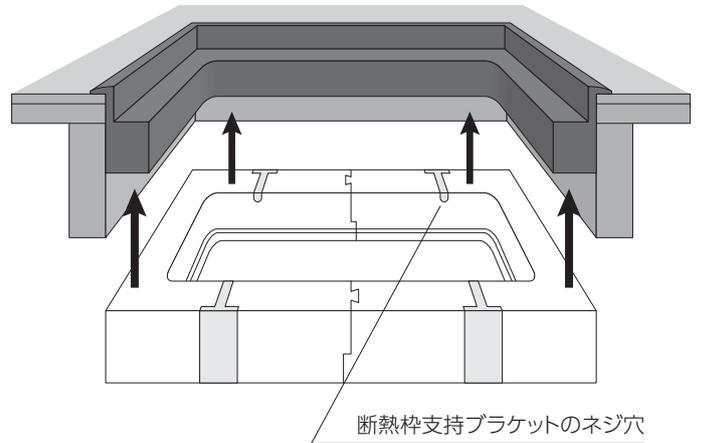
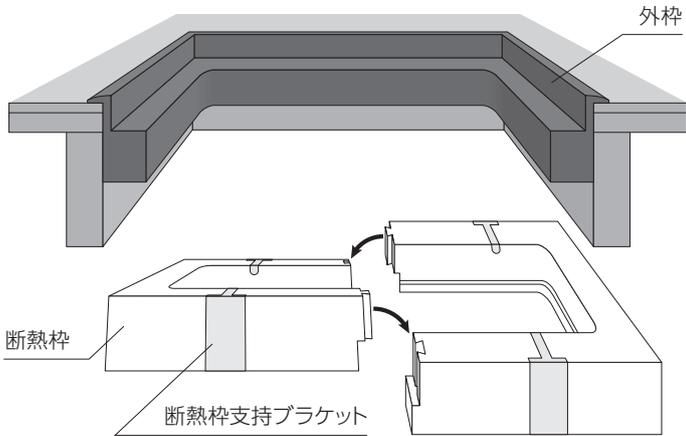


●断熱枠セット図

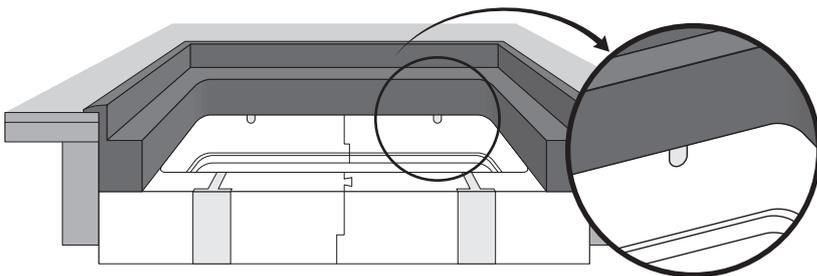


断熱枠の取り付け

1 断熱枠をばらした状態で外枠から床下に入れ、断熱枠支持ブラケットのネジ穴がある方を上にして床下で組んでから、外枠の下端まで持ち上げます。



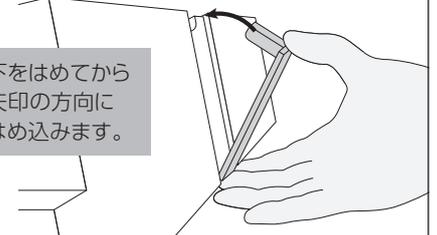
2 断熱枠支持ブラケットのネジ穴から、付属の断熱枠取付ネジで補強材に留め付けます。



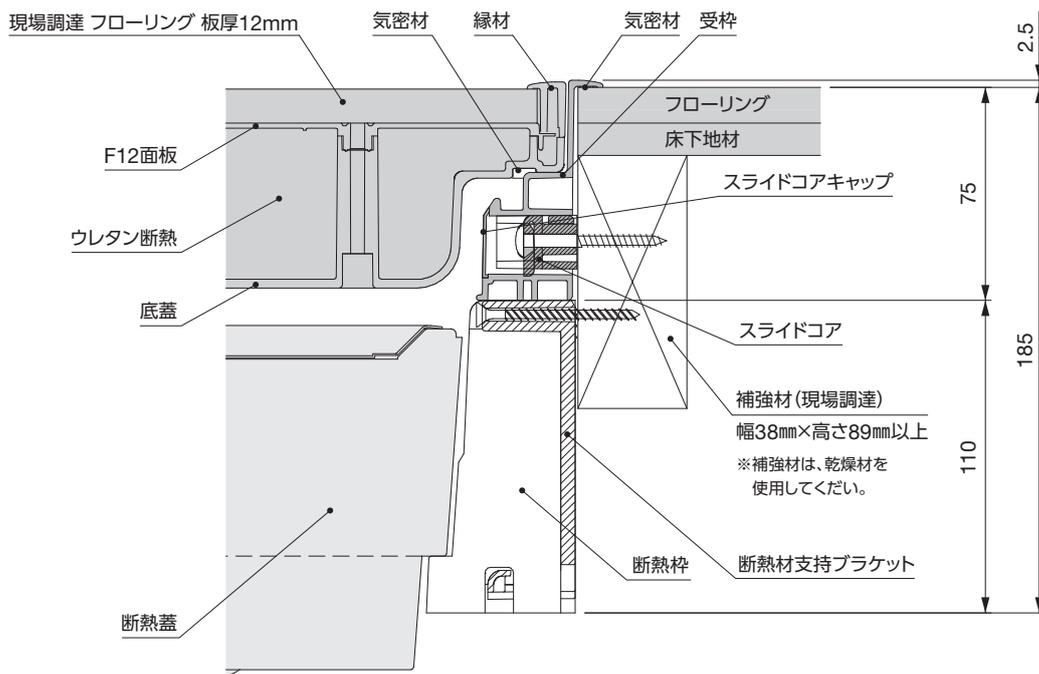
⚠注意

断熱枠支持ブラケットは断熱枠に取り付いた状態で納品されますが、開梱時に万一断熱枠支持ブラケットが断熱枠から外れている場合は、図のように適切な位置に戻してから施工してください。

下をはめてから
矢印の方向に
はめ込みます。



参考納まり図 ※SPF-R60F12-UB3の場合



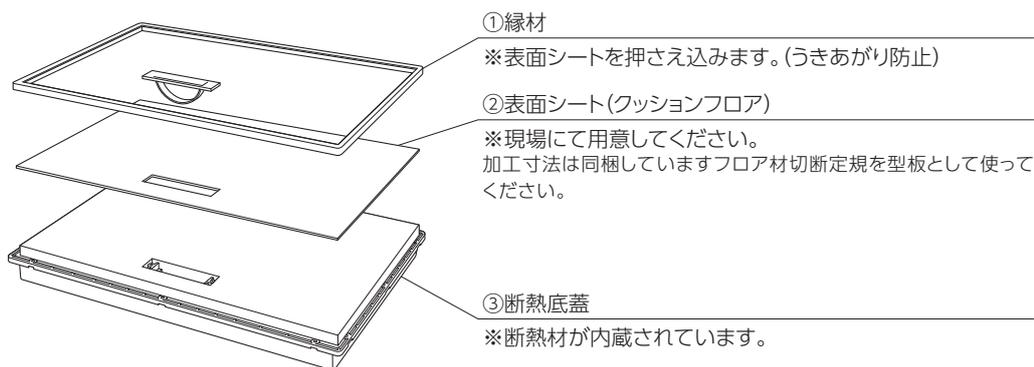
点検時に断熱材を取り外す場合

断熱材支持ブラケットの取付ネジを外して断熱材を押し下げて外してください。また、その際に断熱材が破損しないようご注意ください。元に戻す場合は①と同じ手順となりますが、その際は電動ドライバーは使用せず、手回しでネジを留め付けてください。

4

点検口の蓋を組み立てます

クッションフロア合わせタイプ (SPF-R45〔60〕C-UB3)



クッションフロアを貼る際、以下の点にご注意ください。 ※接着剤は、ホルムアルデヒド対策の市販製品をご使用ください。

1.クッションフロアの選定

- 厚みは1.8~2.0mmとしてください。
- 貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。

2.接着剤の選定

- 接着剤はウレタン系が適当です。アクリル系の両面テープの全面使用も可能ですが、ラテックス、水性エマルジョンは使用できません。
- 断熱底蓋はABS樹脂製品です。クッションフロア材との接着性は接着剤メーカーにお問い合わせの上ご使用ください。

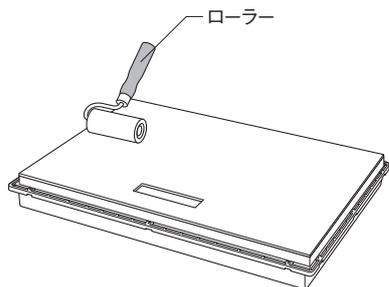
3.施工の注意点

- 接着剤を均一に塗布して貼り合わせ後ローラーで十分に圧着してください。
- 接着不良は後日ふくれ・剥がれなどが生じる原因となります。
- 有機溶剤を含む接着剤を使用する場合は、火気に注意して換気を心がけてください。多量に摂取すると健康を害することがあります。

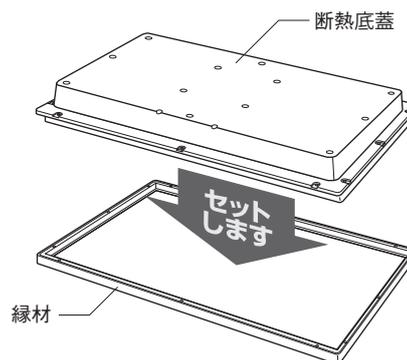
クッションフロアタイプの蓋の仕上げ方

⚠ 注意：インパクトドライバーは使用しないでください。

A-1 断熱底蓋にクッションフロアを貼ります。貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。



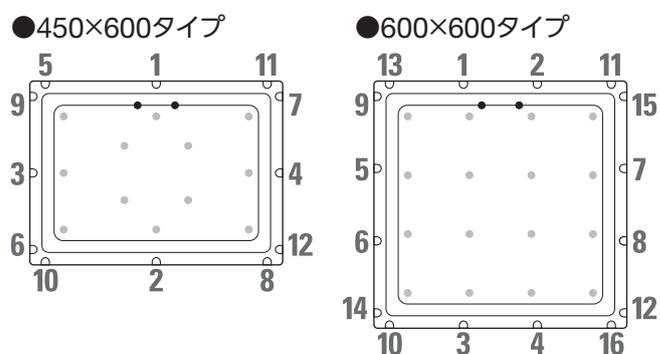
A-2 縁材に **A-1** をセットします。



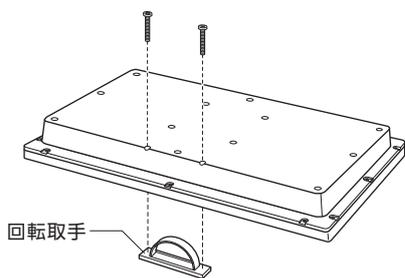
同梱のネジで留め付けていく際、次の点をご確認・ご注意ください。

- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は必ず平らな面の上で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。

A-3 同梱の蓋組み立て用ネジ縁材用 (φ4×20mm) で縁材と断熱底蓋を下図の順番で留め付けていきます。

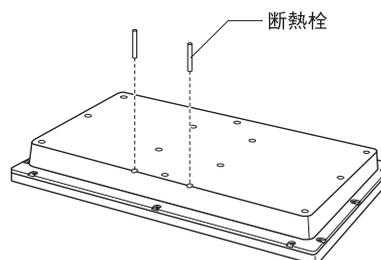


A-4 回転取手を取り付けます。回転取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の回転取手取付ネジ (M4×25mm) をドライバー (手回し) で留め付けます。



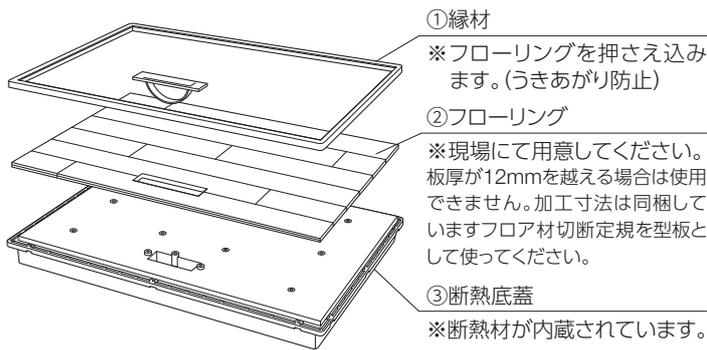
A-5 **A-4** のネジ穴に断熱栓をしっかりと押し込んで取り付けます。

※回転取手取付ネジ部の2個のみ。



フローリング合わせタイプ(SPF-R45(60)F12-UB3)

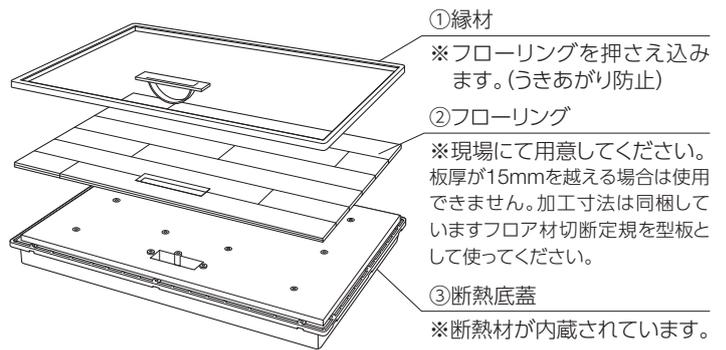
板厚12mm専用タイプ



※板厚12mmに対応します。
※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。

フローリング合わせタイプ(SPF-R45(60)F15-UB3)

板厚15mm専用タイプ



※板厚15mmに対応します。
※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。

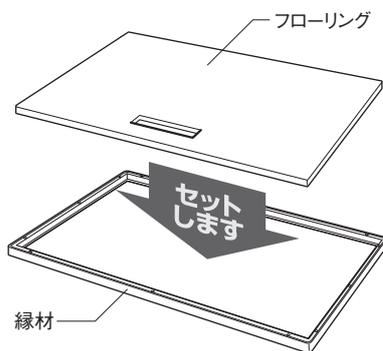
フローリング切断寸法

450×600タイプ : 382mm×532mm
600×600タイプ : 577.5mm×577.5mm

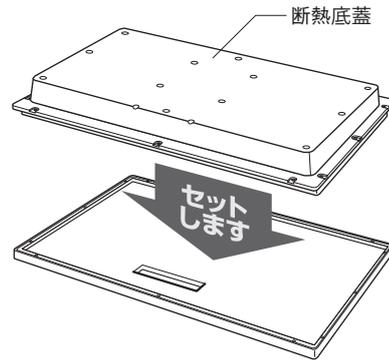
フローリング合わせタイプの蓋の仕上げ方

⚠ 注意 : インパクトドライバーは使用しないでください。

B-1 縁材にフローリングをセットします。



B-2 B-1 に断熱底蓋をセットします。

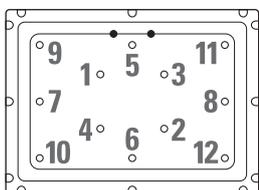


同梱のネジで留め付けていく際、次の点をご確認・ご注意ください。

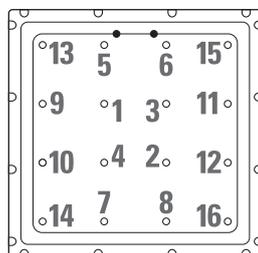
- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は必ず平らな面の上で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。

B-3 同梱の蓋組み立て用ネジフローリング用 (φ4×55mm) で、下図の順番で留め付けます。
※光沢のあるフローリングは付属のワッシャーをご使用ください。フローリング面に突起が出る恐れがあります。

●450×600タイプ

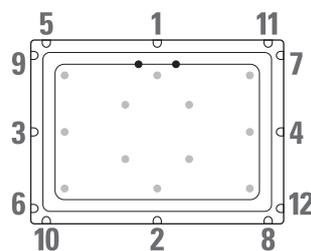


●600×600タイプ

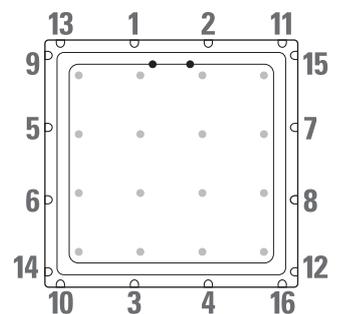


B-4 同梱の蓋組み立て用ネジ縁材用 (φ4×20mm) で縁材と断熱底蓋を下図の順番で留め付けます。

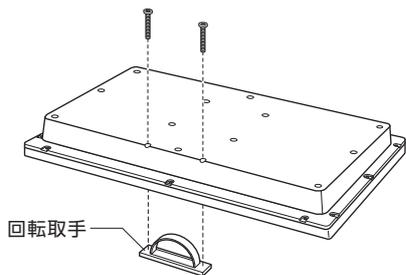
●450×600タイプ



●600×600タイプ

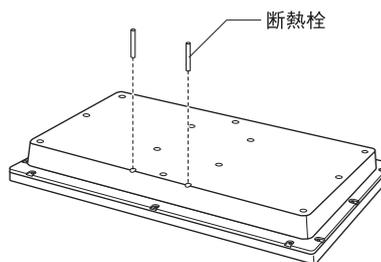


B-5 回転取手を取り付けます。回転取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の回転取手取付ネジ (M4×25mm) をドライバー (手回し) で留め付けます。



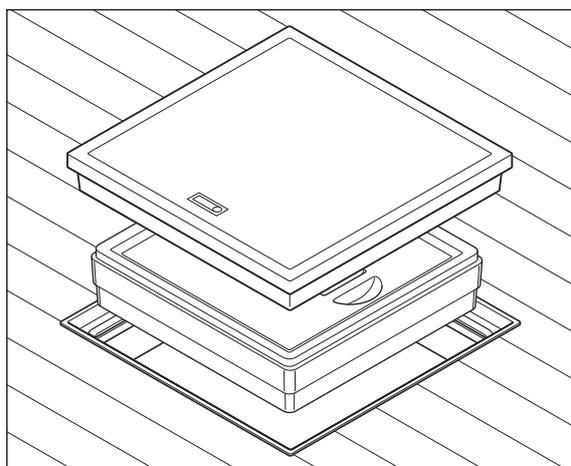
B-6 B-5 のネジ穴に断熱栓をしっかりと押し込んで取り付けます。

※回転取手取付ネジ部の2個のみ。



5 蓋を取り付けます

蓋を取り付ける前に、断熱蓋を取り付けてください。蓋を外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。



6 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目	チェック
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか? 2の5	
断熱底蓋の取手を取り付けた後、断熱栓を取り付けましたか? 4のA-5 B-6	
蓋の開閉はスムーズですか?	
組み立てた蓋や回転取手にガタツキはありませんか?	
外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?	

